



Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations
Tokushima Convention 2008

連に学ぼう!
セッション

地域交流セッション
SESSION

地域交流セッション報告

◎会場: アスティとくしま3F 第1特別会議室
◎時間: 10月25日 10:00~12:15

徳島オリジナルの地域交流セッションは、「市民と建築士が協働するもの・まち・くらしづくり」というテーマで、「南海地震に強い家」(耐震診断・改修と防災)、「ずっと安心して暮らせる住まい」(高齢者や障害者の住まいづくりと専門家の連携)、「身近な景観をよくするために」(「ひょうたん島ぐるっと」と「とくしまっぶ」)などの県内の活動をモチーフに、寸劇や、朝まで生テレビ、などの番組仕立てにして、それぞれの活動の課題や展望をわかりやすく、楽しく伝えることができたかと思っています。構想1年、本番半日。あっという間の2

時間15分でしたが、「何より楽しんでいて欲しい」「せっかくの機会だから、一般の市民が自由に参加できるような内容にしよう」「徳島の建築士がやっていることをもっと知ってもらいたい」「全国の同じテーマで活動している方々と課題や展望について語り合えるようなネットワークがあればいいのに」「徳島の士会会員の底力を結集してみよう」等々今から思うと、セッションメンバーのそんな思いがぎっしり詰まった内容だったと思います。なにはともあれ、地域交流セッションの会場は、全国の士会会員と市民で満員大盛況でした。

●地域交流セッション「ずっと安心して暮らせる住まい」



- ① 地域交流セッション
「南海地震に強い家」
- ② 地域交流セッション
「身近な景観をよくするために」
- ③ 建築士交流セッションⅠ
「地域の元気をとりもどす地域貢献活動」
- ④ 建築士交流セッションⅡ
「今社会に求められる建築士の役割」

建築士交流セッションⅠ報告

◎会場: アスティとくしま3F 第1特別会議室
◎時間: 10月25日 13:00~15:00

連合会まちづくり委員会の主管で開催され、午前中の地域交流セッションの報告、交流プラザでのワークショップの報告、防災、景観、シックハウスに関連する活動事例報告の後、「地域の元気をとりもどす地域貢献活動」というテーマで討論が行われました。①仕掛け、②協働の仕組み、③地域密着型建築士の役割などについて、それぞれの立場で意見が出され、最後に建築士が地域へ踏み出す取り組みの重要性と、全国の建築士や他分野の専門家とのネットワークの必要性が確認されました。

建築士交流セッションⅡ報告

◎会場: アスティとくしま3F 第2特別会議室
◎時間: 10月25日 13:00~15:00

連合会青年委員会の主管で開催され、国交省の宿本企画専門官が法改正について特別講演を行い、建築士登録データベースの解説の後、「社会に求められる建築士の役割」というテーマで討論が行われました。ユーザー、設計、施工、役所を代表するパネラーが、それぞれの立場で意見を述べ、建築士それぞれの自己の責任の重要性が確認されました。

皆さん、お疲れ様でした。

セッション部会 中野真弘